

授業科目名	ダンスワークショップ実習C	担当教員	木田 真理子
必修の区分	選択		
単位数	2単位		
授業の方法	実習		
開講年次	2年第2クォーター		
講義内容	この授業の目的は、ダンスを教える際に必要な創造力ないし技術を培うものである。自らの身体感覚を言語化し、他者との身体感覚の違いを認めることで、ダンスを様々な方法で共有する。短期間で集中して（夏季集中講義になる）、ダンスティーチャーの仕事ならびにダンス教育を巡る仕事に焦点をあてたワークショップを行う。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.身体系ワークショップを企画することができる。</li> <li>2.身体感覚を言語化することができる</li> <li>3.インストラクションを明確に示すことができる。</li> <li>4.ダンスティーチャーやダンス教育の経験を活かした仕事の企画を立案できる。</li> </ol>		
授業計画	<p>受講人数によって変更する可能性があるが、大きくは以下の内容で実習を進める。6～8日間の集中講義（合計48時間）。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1：イントロダクション 授業内容・目的・スケジュール・成績評価方法の説明。 身体系ワークショップの企画立案をする。</li> <li>2：ワークショップをデザインする ワークショップの目的を明確にしたあと、場所、配置、参加人数、時間等の設定を考える。</li> <li>3：ワークショップを試験的に実施する。</li> <li>4：フィードバック、内容の練り直し</li> </ol> <p>（*2～4を繰り返し行う）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>5：ワークショップの実施とフィードバック① （個人、またはグループのワークショップ）</li> <li>6：ワークショップの実施とフィードバック② （個人、またはグループのワークショップ）</li> </ol>		
事前・事後学習	実習が始まるまでにどのような身体系ワークショップを企画したいか考えておくこと。事前課題としてワークシートを配布しますので、必ず記入して提出してください。実習後は報告書を提出していただきます。		
テキスト	特に指定なし		

<p>参考文献</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハナムラチカヒロ『まなざしのデザイン〈世界の見方〉を変える方法』（NTT出版、2017年）</li> <li>・テクタイル『触楽入門 はじめて世界に触れたときのように』（朝日出版社、2016年）</li> <li>・伊藤亜紗・渡邊淳司・林阿希子『見えないスポーツ図鑑』（晶文社、2020年）</li> <li>・堀越英美『モヤモヤしている女の子のための読書案内』（河出書房新社、2019年）</li> </ul> <p>ほか、適宜紹介する。</p>
<p>成績評価の基準</p>	<p>平常点：60%（授業内での姿勢・提案・協働、その過程での掘り下げを評価する）          発表点：40%（プレゼンテーション；20%，提出物/報告書；20%）</p>
<p>履修上の注意 履修要件</p>	<p>全日程の参加を原則とするので、日時をしっかりと確認すること。          他の参加者との身体的接触を伴う場合があります。強く抵抗がある場合は教員とよく相談の上で履修してください。</p>
<p>実践的教育</p>	<p>芸術文化分野の実務経験を持つ教員が、その実務経験を生かして教授することから、実践的教育に該当する。</p>
<p>備考欄</p>	<p>実習の詳しい内容については、説明会で説明します。          履修を考えている方は履修希望書の提出をお願いいたします。定員を超える場合、担当教員が希望書を読んだうえで選考をおこないません。希望書の無記入、締切後の提出は選考に影響しますので、気をつけてください。</p>